

ライトニングトーク⑦

FVC地方創生ファンド、
創業支援・事業承継支援！

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
代表取締役社長

松本 直人 さん

自己紹介



Future Venture Capital

～日本全国の意欲ある中小企業にリスクマネーを～

会社概要

2020年9月末現在

商 業 務 内 容	フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 ベンチャーキャピタル(VC)業務、投資事業組合の企画・運営、 未上場企業投資業務、コンサルティング業務、 投資家・起業家育成業務など
本 事 務 所	京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659 東京事務所、愛媛事務所、盛岡事務所 (FVC Tohoku本社)
電 話 番 号	075-257-2511
設 立 年 月 日	1998年9月11日
資 本 金	1,500百万円
従 業 員 数	38名
決 算 期	3月
株式上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード8462)

運用実績

2020年9月末現在

設立からの累計投資社数	全 630 社
設立からの累計金額	308 億円
投資先上場実績	全 26 社
ファンド組成実績	全 71 組合総額 473 億円

FVCのファンド

地方創生ファンド

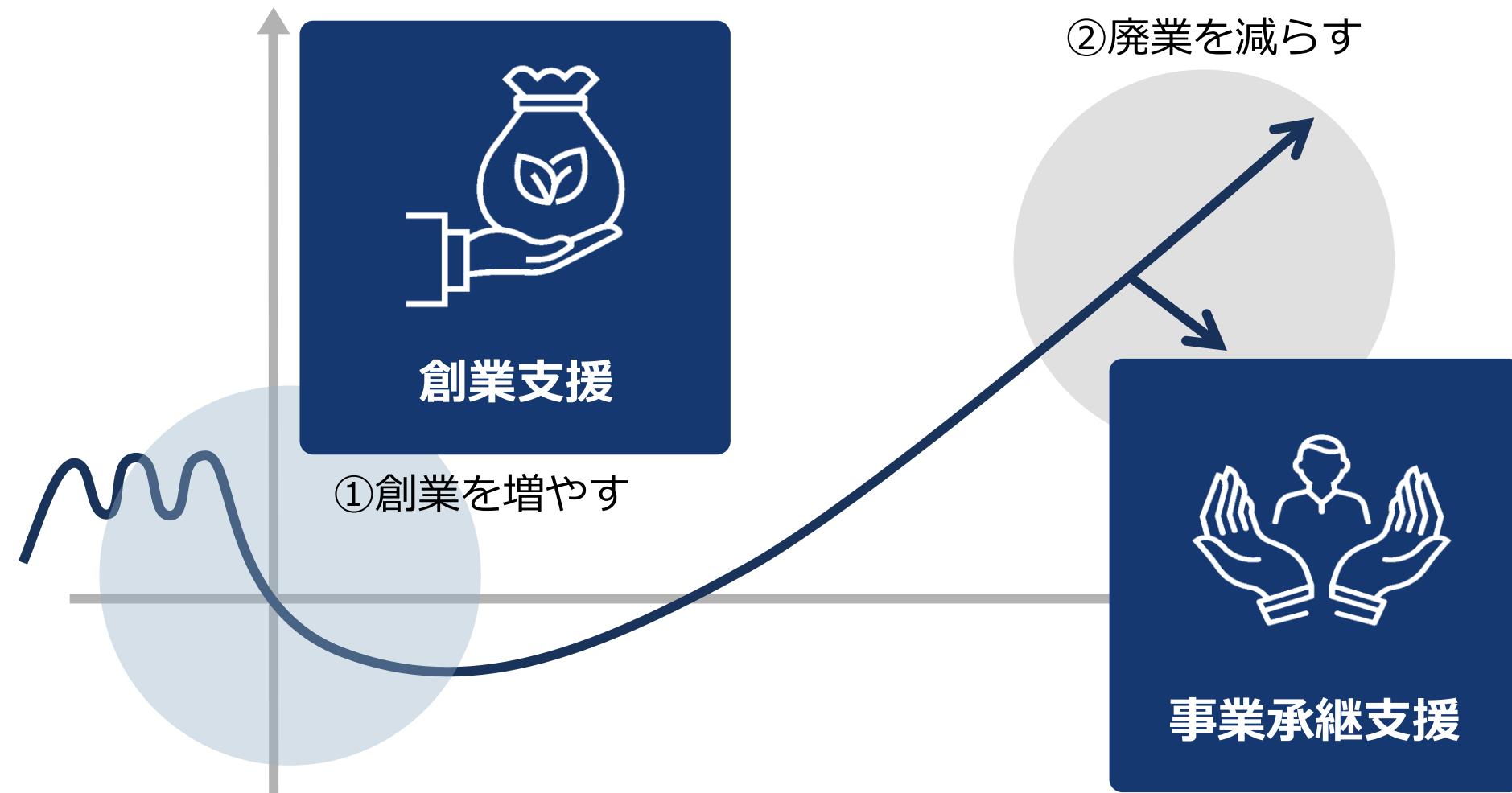
出口戦略を必ずしもIPOやM&Aに限定せず、地域における創業率の向上、域内経済の活性化を実現するためのファンド

CVCファンド

コーポレートベンチャリングの取り組みの促進ツールとして、特定の事業会社と事業シナジーの高いベンチャー企業への投資を行うファンド

ベンチャーファンド

優れた技術やサービスを持ち、成長性が高く見込まれるベンチャー企業への投資を行うファンド



①+②により「地域活性化」に貢献する。

	UNICORN	ZEBRA
THE WHY		
purpose	exponential growth	sustainable prosperity
end game	exit, liquidity event, 10x	profitable, sustainable, 2x
outcome	monopoly	plurality
THE HOW		
worldview	zero sum, winners and losers	win-win
method	competition	cooperation
natural model	parasitism	mutualism
resources	hoarded	shared
style	assertive	participatory
seeks	more	enough, better
THE WHO		
beneficiary	private, individuals, shareholders	public, communities
team composition	engineer heavy	balanced: community managers, customer success, engineers
user pays	with attention (opaque)	for value (transparent)
THE WHAT		
growth direction	hockey stick	regenerative growth
metric	quantity	quality
priority	user acquisition	user success
obstacle	product adoption	process adoption

	ユニコーン企業	シマウマ企業
存在目的	急成長	永続性
成長曲線	指数関数型	リニア型
価値提供対象	投資家、株主、創業者	地域社会、顧客、社会
優先順位	ユーザー獲得	顧客の幸せ
KPI	定量的	定性的
顧客への価値	プロダクト中心	プロセス・体験
市場	ゼロサム、勝者独占	相互利益
最終ゴール	バイアウト、IPO	利益確保、存在維持
手段	競争からの市場独占	助け合い
生存圏確保	周囲飲み込み型	中立的存在
リソース	独占買い込み	共有型
性質	独断的	参加型
領地	より多く	節度を守る
ユーザー対価	感覚的価値(不透明)	リアル価値(透明)
チーム編成	エンジニア中心	コミュニティーマネージャー、デザイナー、顧客サポート

地域金融機関との地方創生ファンド組成実績 No.1

地方創生ファンド

30 本

(2020年1月時点 FVCグループ)

- 主要LP所在地
- 投資対象エリア

京都市スタートアップ支援2号ファンド
WAOJE海外進出支援基金
京都想いをつなぐファンド
京都市スタートアップ支援ファンド
京信イノベーションCファンド

こうべしんきん地域再興ファンド
こうべしんきんステップアップファンド

トマト創業支援ファンド

ほうわ創業・事業承継支援ファンド

えひめ地域活性化ファンド

地域とトモニファンド

あきた創業サポートファンド
秋田元気創生ファンド
秋田再生可能エネルギーファンド

びわこ・みらい活性化ファンド

SUWASHIN地域応援ファンド1号

だいしん創業支援ファンド
おおさか社会課題解決ファンド
おおさか事業承継・創業支援ファンド

もりおか起業ファンド
日高見の国地域振興ファンド
もりおかSDGsファンド

磐城国地域振興ファンド
ふくしま夢の懸け橋ファンド

かんしん未来ファンド
かんしん未来2号ファンド
信用組合共同農業未来ファンド
城南創業支援ファンド
かんしん事業承継ファンド
東日本銀行地域企業活性化ファンド

全国の地域金融機関と共に展開している『地方創生ファンド』のあり方と運用の仕組みを分かりやすく解説



【目 次】

- 序 章 地域金融機関と協力して
- 第1章 地方経済を活性化させるために
- 第2章 地方創生ファンド運営の流れと仕組み
- 第3章 地方には面白い企業がたくさん
- 第4章 地方創生ファンドの実例紹介
- 第5章 共感社会における金融機関のあり方とは
 - *「捨てられる銀行」「金融排除」著者 橋本卓典氏 対談
- 終 章 未来の金融機関に向けて

【内容紹介】

2014年に、次のような衝撃的な予測が発表されました。

- ・2040年には全国1800市町村の半分の存続が難しくなる（日本創生会議）
- ・2050年には全国の6割以上の地域で人口が2010年時点の半分以下になる（国土交通省）

あれから5年。日本という一国の存続に関わる大問題であるにも関わらず、課題解決に向けた具体的なアクションは、ほとんど見えてきません。だからこそ、地方経済を盛り上げるための方法を早く取り組まなければなりません。

ではどうすればよいのか——その方法の一つを提案したのが本書です。

本書は、人口減少時代を迎える今、地方が活力を取り戻すための方法を解き明かしたもの。地方経済活性化のために、FVCが地域金融機関（地方銀行・信用金庫・信用組合）と共に、福島、秋田、大阪、京都など全国で展開している『地方創生ファンド』20本の実例をもとに、『地方創生ファンド』あり方と運用の仕組みを分かりやすく解説しました。

【本書で紹介している事例】

- ・あきた創業ファンド（秋田信用金庫）
- ・秋田元気創生ファンド（秋田県信用組合）
- ・もりおか起業ファンド（盛岡信用金庫）
- ・磐城国地域振興ファンド（いわき信用組合）
- ・かんしん未来ファンド（第一勧業信用組合）
- ・だいしん創業支援ファンド（大阪信用金庫）
- ・京都市スタートアップ支援ファンド（京都中央信用金庫・京都信用金庫）
- ・京信イノベーションCファンド（京都信用金庫）
- ・信用組合共同農業未来ファンド（第一勧業信用組合、北央信用組合、秋田県信用組合、いわき信用組合、あかぎ信用組合、君津信用組合、糸魚川信用組合、都留信用組合、笠岡信用組合）



**Future
Venture
Capital**

**フューチャーベンチャーキャピタルに 関わる
すべての人を"ミライ"志向に**